



一般社団法人 サラダボウル(函館市)



出荷前の食品



作業中のスタッフ

◇【団体発足の経緯】

- ◆それぞれの野菜が個性をもってひとつのサラダボウルをつくるような多様性に配慮した社会づくりを目指して設立。
- ◆2025年4月、(一社)北海道国際交流センターのフードバンク事業を承継し、主にこども食堂への食支援事業を開始。

◇【活動の概要】

- ◆(一社)全国食支援活動協力会を通じて、企業等から寄贈された食品を配送で受け取っている。
- ◆函館市、北斗市、七飯町のこども食堂のスタッフに、直接食品の引き取りを行ってもらっている。

【組織の概要】

- 団体名: 一般社団法人 サラダボウル
- 所在地: 函館市海岸町
- 代表者: 代表理事 池田 誠
- 活動人数: 10名
- 活動開始時期: 2025年
- HP: <https://www.salad Bowl.or.jp/>
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品: 加工食品(常温・冷蔵・冷凍)、農産物、学用品や衣料等
- 提供の条件: 賞味期限が切れていない食品

【取組む際に生じた課題】

- ◆ 食品の保管場所は狭いが倉庫を無償で貸してくれる企業があり、大変助かっている。しかし、団体専用のフォークリフトを所有していないため、食品の積み下ろしに手間と時間を要している。
- ◆ 函館で集められた食品を、道内各地のこども食堂等へ届ける物流ネットワークの構築が課題となっている。

サラダボウルの食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

- ◆ 北海道における生活困窮者支援に関わる企業、行政機関、こども食堂、フードバンク団体等の情報を冊子やWebページに掲載し、生活困窮者の相談窓口や、支援を提供する意思のある企業を紹介する仕組みを作りたい。
- ◆ トラックにキッチン設備を搭載した移動式こども食堂を作り、各地で支援活動を行いたい。
- ◆ 北海道は一大食料生産地であり、食料品が集まる要素がある。この特性を生かし、提供された農産物・加工品を道内外に届けることができる物流のネットワークを構築したい。